

稲わらは大切な資源です

出水地域国産稲ワラ耕畜連携会議で、平成30年度産出水地域稲わら基準価格を決定しましたのでお知らせします。稲わらは畜産農家にとって大切な粗飼料資源です。できるだけ野焼きをせず、肉用牛農家に販売もしくは譲渡してください。

平成30年度産稲わら価格

- 掛け干しされた稲わら価格 作付け面積10㍍当たり 9700円
- コンバインで切り落とした稲わら価格 作付け面積10㍍当たり 4800円



【規格および条件】

- ①十分に乾燥させ、長期保存に耐えられるもの
- ②車両が隣接可能な場所に集積してあること
- ③雨天の場合、稲わらが濡れないようにビニールシートなどをかけること

稲わらと堆肥を交換する場合の堆肥の量

○10アール当たり

2トン車1台分

- ※堆肥は十分に発酵させた完熟(良質)堆肥とする
- ※畜産農家に販売・譲渡する稲わらは野焼きをしないこと
- ※上記条件に適合しない場合は、両者で協議の上、決定すること

◎問い合わせ先

役場農林課畜産係
☎(88)5670 [直通]



農業用廃残農薬類を回収します

出水地域農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会では、廃残農薬類回収を右図のとおり実施します。

◎問い合わせ先

役場農林課農政係 ☎(88)5670 [直通]

回収日	時間	回収場所
11月14日 (水)	9:00 ~ 10:00	J A 東事業所馬鈴薯選果場
	10:30 ~ 11:30	J A 長島事業所馬鈴薯選果場

- ※廃残農薬類の回収処理料金は、すべて現金扱いになります。
- ※農薬容器類は、洗浄せずラベルを付けたまま回収できます。
- ※回収場所へ運搬する際は、事故の無いよう廃液など廃残農薬の取扱に注意してください。
- ※回収料金は、当日現金徴収とします。(回収処理料金の目安 300円~22,000円/kg)
詳しくは問い合わせください。

調べます!

日本の水産業

農林水産省では、2018年11月1日現在で、「2018年漁業センサス」を実施します。

漁業センサスは、我が国漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業などの漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握することを目的とし、漁業の「いま」を知るための5年に1度の大切な調査です。

10月中旬から調査員が漁業関係者のかたを訪問しますので、調査票に漁業の操業状況などの記入をお願いします。

なお、インターネットを利用したオンラインでの回答も可能です。

皆さまのご協力をお願いします。

◎問い合わせ先

役場企画財政課広報統計係
☎(86)1134 [直通]

